作成日： 2023年 4月 20日
第03版

安全データシート（SDS）

1. 製品名及び会社情報

- 製品名： ハムF-12 濃縮培養液
- 会社名： 新田ゼラチン株式会社
- 住所： 大阪府八尾市二俣2丁目22
- 担当部門： バイオメディカル部
- 連絡先： 072-949-8702
- メールアドレス： info-bematrix@nitta-gelatin.co.jp

2. 危険有害性の要約

- 化学品のGHS分類、GHSラベル要素
  - GHS分類： 区分に該当しない/分類できない
  - GHSラベル要素： 絵表示なし、注意喚起語なし

3. 組成成分情報

- 単一成分・混合品の区別： 混合物
- 化学名（一般名）： ハムF12培地
- 成分及び含有量： 精製水 89.4%
  ハムF12培地 10.6%
- CAS No.： 精製水 7732-18-5
  ハムF12培地 なし
- 化審法番号： なし
- 安衛法番号： なし
- 危険有害成分： 毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当しません。

4. 応急処置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合： 皮膚に付着した場合は多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診察、手当てを受けること。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場

合は医師の診察、手当てを受けること。

- 飲み込んだ場合：　口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の処置

- 消火剤：　水（初期消火）、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤：　大規模火災の場合、水は、使用してはいけない。
- 特有の危険有害性：　火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：　関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 消火活動を行う者の保護：　保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：　適切な保護具を着用する。水を含んだ場合はこぼれた場所が滑りやすくなるため注意する。
- 環境に対する注意事項：　流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない様に注意する。
- 除去方法：　適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
  - 技術的対策：　指定された個人用保護具を使用すること。
  - 取り扱い注意事項：　吸入を避けること。眼に入らないようにすること。
  - 衛生対策：　眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保管
  - 安全な保管条件：　容器を密閉しておくこと。直射日光を避け、冷蔵条件（4℃～8℃）にて保管すること。引火物の近くに置かないこと。
  - 安全な容器包装材料：データなし。他の容器に移し替えないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理指標
  - 管理濃度：　データなし
  - 日本産衛学会の許容濃度：　データなし
  - ACGIH許容濃度：　データなし

- 暴露防止
  - 設備対策：　適切な換気のある場所で取扱う。洗眼設備を設ける。手洗い/洗顔設備を設ける。
  - 呼吸用保護具：　換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
  - 手の保護具：　保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム
  - 眼の保護具：　側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
  - 皮膚及び身体の保護具：　保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態：　水溶液
- 色：　微黄赤色から橙色
- 臭い：　臭いはほとんど無い
- 融点/凝固点：　データなし
- 沸点/初留点：　データなし
- 沸点範囲：　データなし
- 可燃性（ガス、液体及び個体）：　データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：　データなし
- 引火点：　適用外
- 自然発火点：　データなし
- 分解温度：　データなし
- pH：　弱酸性～中性
- 動粘性率：　データなし
- 溶解性：　水に可溶
- n-オクタノール/水分配係数：　データなし
- 蒸気圧：　データなし
- 密度及び/又は相対密度：　データなし
- 相対ガス密度(空気=1)：　データなし
- 粒子特性：　データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性：　データなし
- 化学的安定性：　推奨保管条件及びそれに準じた取り扱い条件において安定である。
- 危険有害反応可能性：　データなし
- 避けるべき条件：　太陽光、過剰熱、凍結
- 混触危険物質：　データなし
- 危険有害な分解生成物：　燃焼または熱分解により、炭素酸化物、窒素酸化物、硫黄酸化

物のガスが発生することがある。

11. 有害性情報

- 急性毒性(経口): データなし
- 皮膚腐食性/刺激性: データなし
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: データなし
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性: データなし
- 生殖細胞変異原性: データなし
- 発がん性: データなし
- 催奇形性: データなし
- 生殖毒性: データなし
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露): データなし
- 誤えん有害性: データなし

12. 環境影響情報

- 生態毒性: この製品は長期に生態学上の問題を起こしていない。
- 水生環境有害性: データなし
- 水溶解度: データなし
- 残留性/分解性: 生物学的分解が可能であるとみなされている。
- 生体蓄積性: データなし
- 土壌中の移動性: データなし
- 他の有害情報: 行政の許可なく大量に環境に流出させないこと。本製品のBODは高いので水中での溶存酸素量が減少して、生態系への影響が予想される。

13. 廃棄上の注意

- 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
  - 廃棄物の処理方法: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
  - 汚染容器及び包装: 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

- 国連分類: 該当しない
- 国連番号: 該当しない
- IMDG Code(国際海上危険物規定): 該当しない
- IATA 航空危険物規則書: 該当しない
- MARPOL条約附属書III 海洋汚染物質: 該当しない

- 船舶安全法: 該当しない
- 航空法: 該当しない

15. 適用法令

- 毒物及び劇物取締法: 該当しない
- 労働安全衛生法: 該当しない
- 化学物質管理促進(PRTR)法: 該当しない
- 消防法: 該当しない
- 化審法: 該当しない

16. その他の情報

- 参考
  - JIS Z 7252 : 2019
  - JIS Z 7253 : 2019

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 2019年度)です。但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。